



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**問合わせ・見学 大歓迎！！**  
**《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》**  
 ☆ナイス・ケア  
 ☆ナイス・デイ (定員 10 名)  

月	火	水	木	金	土
5	4	4	4	3	7

 ☆ナイス・ホーム (定員 21 名、現在登録者 18 名)  
 ☆愛宕の家 (定員 17 名中入居者 8 名)  
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)  
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

**《4月行事予定》**  
 10日 外食DAY  
 20日 避難訓練 (昼&夜間想定訓練)  
 26日 誕生日会  
 ※上旬：桜花見  
**《不定期行事》**  
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

**《教室案内》**  
 ・和太鼓 月曜日(年間 35 回)  
 場所：愛西市川淵コミュニティ  
 ・コーラス 水曜日(月 2 回)  
 場所：喫茶てのひら  
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
 ※各教室月謝制で、定員あり。  
 詳細はお問い合わせ下さい。

**地図／愛宕の家**

片付けをしていたら、津島市の住宅地図を見つけました。その日の夕食後、ひとりの入居者さんにその地図を見せながら「〇〇さんの家って確かこの辺りですね？」と聞くと「そうそう1丁目ね。」と言われます。目を凝らして見てみると確かに名前が書かれています。その場にいた入居者さんや通りかかったスタッフも話題に参戦(笑)「私は子供の頃、ここに住んでいたよ。」と指差しが始まり・・・「私の妹の家はここ！！」、「私の主人の実家はここ！！」等々次から次に出てくる出てくる！！  
 順番に赤印を付けてみると、何とまあ、地図の半径 5cm以内に沢山の赤印。『知らぬ間に顔を合わせていたかもしれないね〜♪』と大盛り上がり。  
 皆が頭をつき合わせて地図を見ていた様子を思い出すと「写真を撮っておけば良かった」と後悔するくらい楽しい光景。地図一枚に予想以上の盛り上がりを見せたひと時でした。(K・T)

**思い起こせば／ナイス・デイ**

Aさん、100歳を目前に誤嚥性肺炎で入院。息子さんは『最後まで家で・・・』と、要介護5の母親をずっと介護してみえましたが、入院時、『今後は、口から食べる事が困難です。』と医師から告げられ、胃ろうを選択されました。退院後も自宅で生活できるようにしたいと話され、色々と考えられていましたが、最終的には、施設入所を選択せざるを得ない状況になってしまいました。

4年間に渡り、週4回ナイス・デイを利用され、その間、デイスタッフとしても色々な問題に直面し、幾度も苦悩を抱え、関わり方に工夫をしながら共に過ごし乗り越えてきました。今となれば全てが良い思い出であり、良い経験。Aさんを通して沢山の事を学ぶことも出来ました。Aさん不在の今、何だか寂しくなりました。

先日、契約終了手続きのため訪問した際、Aさんが50年前にお庭に植えたさくらんぼの木の花が咲き誇っていました。最後にAさんが笑顔を見せてくれたような感じがしました。(M・O)



**桜の花見**



**目標達成！／ナイス・ホーム**

高齢者2人暮らし、『夫婦二人、自宅で過ごす時間を楽しみたい。』という意向に沿い、訪問・通い・泊まりを組み合わせ、緊急時には臨機応変に組み合わせを変更しながらの関わり。まさに小規模多機能の制度を活かした関わり方です。

先月、体調不良をきっかけに栄養状態が悪くなり、更には急速な悪化も予測されるため、家族と相談の結果、しばらくの間は“24時間を通してナイスホームで状態把握し関われるよう連泊利用となり、体調も安定してきました。

しかし・・・、いざ在宅生活を再開しようと内容の見直を相談中、「施設入居も視野に入れたい」との思いが確認されました。

高齢のご夫婦で体調も不安定な今、やはり在宅生活を再開するリスクもあり、限界もあるのだと痛感。

『自宅で最期まで・・・』を目標に関わらせていただきましたが目標達成ならず。

しかし、その直後、ご家族が涙ながらに「3年前に入院した時、退院したら施設入所しかないと考えていたのに、その後3年間も両親が共に家で過ごす時間を作れた。ありがたかった。」と話してくれました。その言葉で「最期まででは無かったが、それでも、ご夫婦やご家族にとっては少なからず目標を達成することができたのではないか」と思い直しました。誰の目線で物事を捉えるかが大事ですね(Y・O)

**さすが！！／ナイス・キッズ**

朝、「今日は誰か来る？」とAちゃん。「今日はAちゃんだけ〜。」と伝えると、「じゃあ大根干してくるわ」と、昨日準備していた切り干し用の大根をテラスで干し始める。「早く干さんと！」に思わず笑ったが、ばあば達と一緒に切った大根を放っておかないAちゃんの様子はどうしても心強い。(R・W)



**介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況**

《段位取得者》 1～6期生(12名)  
 《申請中》 8期生(1名)  
 《評価中》 10期生(3名)



**《編集後記》** 新しい年号『令和』発表されました。今年1月の通信では、スタッフがそれぞれの想いを込めた年号を書きましたがどの年号も外れていました(笑)そして、新しい紙幣も発表されました。きっと年号は大丈夫。でも、今までの見慣れた紙幣ではなく、新しい紙幣を手にしたら〇〇さんは自分で買物の支払いを続けることができるだろうか(Y・O)

**第三者評価／ナイス・ホーム**

年に1回義務付けられている、第三者評価が無事！？終了しました。毎年のことではありますが、1年間運営推進会議に足を運び、評価に協力して下さった地域の皆様、利用者さん及びご家族様、関係事業所の方々に、深く感謝を致します。

平成27年度より、評価機関ではなく、運営推進会議開催時に行う事となり、4回目の第三者評価となりました。『出来ている』『出来ていない』の結果のみではなく、個々のスタッフ、事業所として、日々の関わりを振り返り、その上で、地域の方々に評価していただくことで、事業所のあり方や今後の課題を見出す機会に繋がっているのだと考えています。『事業所の周知不足、ボランティアさんの協力をもらえるように情報収集と提供を行う。』等、頂いたご意見、助言を活かし、より良い事業所でありたいと思っています。事業所評価及びサービス総括表はホームページにアップします。(Y・O)



**訪問介護スタッフとして／ナイス・ケア**

訪問介護を担当させて頂くようになり、半年程が過ぎました。今、改めて介護の難しさ、大変さを痛感させられます。

一人ずつ異なった身体の状態に合わせた介助しているつもりですが、「これで良いのだろうか?」「利用者さんに納得してもらっているだろうか?」等の自問する日々。

利用者さんはみな優しく、遠慮されて言いたいことも言えないのかもしれない。もしかすると・・・人生の先輩として若輩者の私のある程度の失態や慌てん坊振りは片目をつぶって見てくれているのかも。『こんな介護してほしくない!!』『痛い!』『もっと優しくして!』『良く喋るなあ・・・』と感じているのでは・・・、と頭の中も気持ちも不安だらけ。毎日バタバタと動くことで精一杯。

そんな頃、利用者さんのご家族に日々の様子を伝えていると、「お風呂に入れてもらえるなんて夢のよう!」「母の顔色が段々と良くなって」と嬉しそうに話してくれたのです。その言葉を聞いて、これまで不安だった気持ちが少し軽くなりました。

“1対1の訪問介護で関わることの意義”を考えてみたいと感じた初めての機会でした。

今は、有料老人ホーム内での訪問介護サービスの提供ですが、きっとどこで訪問介護サービスを提供するのも基本は同じ。

利用者さんのみでなく、ご家族にも「良かった」と思っていたかのような介助をしたい。今まで以上に身体の状態に合わせた注意を払い、声かけは相手の心情と状況を考えて声のトーンや大きさ、口調に気をつけて、利用者さんが不快に感じないように・・・。

そして、自分だけで不安に陥ったり、独り善がりの介助・介護にならないよう連携を図り、心地よい生活が送れたと感じていただけるようなサービス提供を目指していきたいと思っています。

(A・K)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

4月の発送部数 102 部